

資格の大原 宅建士講座 合格者インタビュー



増田 祐花

2019年 完全合格週2コース入門パック 受講
2019年 宅地建物取引士 合格

宅地建物取引士とは何者なのかもよくわからず、また、宅建士の資格取得の必要に迫られた訳でもないが、友人との話の流れから宅建士試験に挑戦！約 10 ヶ月間にわたる受験勉強を主婦業と両立させ、みごと一発合格！お住まいが静岡県東部のため、受講当初は沼津校で受講していたが、途中から静岡校で受講し、ときどき沼津校で受講というスタイルが定着。しかしながら静岡校は夜間授業であり、終了が 21:00 を過ぎるため、授業終了と同時にJR東静岡駅までの約 1 キロメートルを猛ダッシュ！いつしかランニングが趣味に。

今回、全くの初学者であった増田に、主婦が一発合格するまでの道のりを赤裸々に語ってもらった。『宅建』という言葉しか知らない初学者必読の合格体験談！

きっかけ

1 年前の 12 月。友人と話しをしていた時、「何か資格でも取りたいな～。『宅建』とか。」と、唯一知っていた資格『宅建』を例に挙げたところ、たまたま友人も同じ事を考えていたようで、『1月から大原に通うつもりなんだけど、一緒に行かない？』と誘われました。

私は、物事を始める前にあれこれ考え過ぎて、始めもせずに自爆してしまうタイプ(笑)。きっと、今回も口では「いいネェ～」と言いながら行動に移す勇気もなく、どうせいつかはやらずに忘れてしまう話だろう、そう思っていました。



しかし、なぜか今回は、(もし、宅建試験に合格したら自信がつくかもしれない…！人生変わるかもしれない…！子供達に頑張る姿を見せたら、子どもたちも勉強を頑張るかもしれない…)と、私にしては珍しくポジティブな事がどんどん頭に浮かんで来て、友人に誘われてからあまり日が経たないうちに(やってみたい!)と強く思うようになりました。

そして、家族にその思いを伝え、実家にも協力をお願いし、『宅建』という言葉しか知らない状態で、ほぼ勢いだけで『資格の大原 宅建士講座』の受講申し込みをしました。

入門期 (1~3月)

どんな勉強をするのかもわからず始めたので、授業が始まって早々に(とんでもないものに足を踏み入れてしまった…)と後悔しました(笑)。

それでもこの時期は、『自分に合った勉強方法を見つける!』を目標に、自主勉強の方法を模索しました。そしていつしか次のような自主勉強の流儀が確立しました。

●増田流勉強法●

【授業の内容をノートに自分なりにまとめて整理してみる】



【トレーニング問題集を解く】



【暗記するものは付箋に書いてキッチンに貼る】

こんな方法で進めました。が、怠け癖のある私は、何だかんだ理由を付けて勉強をサボる日も少なくなく、(自主学习を記録してある)『大原 合格シート』で振り返ると、1週間、何も勉強をしていない日も多々ありました。



1回目のやる気スイッチ ON!

(人生、変わるかも!!)なんて思ったもののあまり勉強をしない日々が続き、気づけば3月末。入門期も最終回となり午前中は授業、午後は『特別セミナー』を受講しました。午後の『特別セミナー』は、前年度に合格された元受講生の方々の体験談を聴くことができるチャンスであり、これから受験する私としては、合格者の方々からオーラが出て見えました(笑)。そして、その内容は合格した者にしか分からない、とてもリアルな内容だったので、正直、(受験が怖い!!)とも思っていました。

しかし、これから10月までの勉強のペース配分や、どのような気持ちで勉強を進めれば合格できるのか等々…。今後の受験生活を、この時、初めて具体的にイメージすることが出来、翌月4月から始まる基礎期に向け、バチッとスイッチが入る大変貴重な機会となりました。

基礎期スタート(4月～) 宅建業法

基礎期の1回目の授業が私用と重なってしまい、授業をいつもの沼津校ではなく静岡校で受けることになりました。静岡校は火曜日と木曜日の夜間週2回のペースなのですが、なぜか集中することができました。また夜間ということもあり、何となく落ち着いた気持ちで授業を受けることができました。

(静岡校の夜の授業の方が自分には合っているかもしれない!) と思い、4月からは静岡校に通い、それでも理解出来ない時は、沼津校で再度授業を受けるという通学スタイルに変更しました。この振替授業や重複受講が自由にできるというフォロー体制は大変助かりました。特に急な用事が入った時でも慌てることなくライブの授業を受けることができるので精神的ストレスを感じる事がなく、とてもありがたかったです。

宅建業法は素人の私でも理解し易く、また、『宅建業法は本試験で満点を目指す分野だ』と、石田先生がおっしゃっていたので、トレーニング問題集を繰り返し解き、実施した日付を記録する欄が足りなくなるまでになりました。



基礎期 権利関係

この時期は体調がとても悪く授業に出るだけで精一杯なのに、1度では到底理解出来ない内容が続き、気持ちはどん底まで落ち込みました。この時の『合格シート』を読み返してみると、ほとんど愚痴しか書いてありません(笑)。それでも、石田先生は励ましのコメントとスタンプを押して返却して下さいました。その石田先生のコメントの中に『勉強を楽しんで!』というものがああり、泣きながらその言葉を紙に書きキッチンに貼りました。この日以降、この言葉を常に意識して勉強しました。

権利関係は、さらっとテキストを読み、あまり理解出来ていなくてもトレーニング問題集を解きました。わからない問題はすぐに答えを見て、それでも理解できない所はテキストを見ながらノートにまとめ、まとめながら頭の中を整理していく…という作業を繰り返しました。『権利関係は完璧を目指さない分野』という事を聞き、あまり深くまで考え過ぎないように勉強を進めました。

基礎期 法令上の制限、税その他

法令上の制限はひたすら暗記の分野でした。暗記をしても勉強が進むごとに全ての項目の数字などが頭の中で混ざってしまい悲惨な状態に。そのような中、石田先生が教えて下さるゴロ合わせが、勉強内容とは全く関係ないゴロ合わせなのに(笑)、なぜか頭にスーッと入ってくるしくスッと笑えて暗記で疲れた頭の癒しになりました。



直前期 2回目のやる気スイッチ ON！

お盆明けから直前期に入り、この時期から受講される方も加わり教室の雰囲気は今までと違い、(だんだん本試験が近づいてきているな…)と実感しました。授業の中で解いた問題の答え合わせを周りの人とするのですが、(勉強済みの問題なのに解けない！ あれだけやった宅建業法も忘れてる！ 勉強してないのが相手の方にバレてしまう！)と、かなり焦りました。ここでまた、バチッとスイッチが入りました。

しかし、その後、4回ある模擬試験では、回を重ねるごとに点数が下がっていきありさまでした。4回目の模擬試験では、答え合わせの後、石田先生に見せると、今まではどんな時でも優しく励まし続けて下さったあの先生が、言葉を失うというのを目の当たりにし、笑えない状態であることを察しました。

本試験まであと2週間

直前対策期に入る頃からよく石田先生が、『本試験 2週間前はできるだけ有給を取ってください！』とおっしゃっていました。そのため本試験 2週間前はお休みをもらい、勉強に集中することにしました。

まず、本試験では絶対に落とせない宅建業法の復習を徹底的にやり、法令上の制限の暗記事項を確認。次に避けていた報酬や税の計算を繰り返しました。権利関係はトレーニング問題集しか手を付ける時間がなく、(あとは自分の常識で判断しよう…)と考え、深入りはせず基礎知識を徹底的に勉強しました。

同時に、先生が思わず言葉を失った例の模擬試験を毎日のように解きました。最終的には解き過ぎて高得点を取れるようになったのですが、その『苦手な模擬試験でも高得点とれるぞ！』という記憶だけを頭に残し(笑)、自信を持って本試験に挑むことにしました。

そして、本試験当日！

本試験に備え、事前に『朝起きてから、試験開始まで』をイメージトレーニングしておきました。家を出る時間、電車に乗る時間、試験会場へ到着する時間まで決めておき、気持ちに余裕を持って本試験を受ける事が出来るようにしました。

本試験開始前は確認したい項目をまとめたノートと、先生が『これに出席すると8割方合格します！！』と力を込めて案内する言葉につられて参加した飲み会の時の集合写真を持参しました。そして、ノートはギリギリまで開いて確認しました。

本試験開始前、気持ちはとても落ち着いていましたが、いざ試験が始まると、手が震え、問題を読んでも頭に入っていない！！『落ち着けー、落ち着けー』と思いながら、必死に問題を解き、今まで生きてきた中で、最も短い2時間を過ごしました。その後、ほどなく試験終了。そして手応えもなく、へろへろな状態で帰宅。しばらく放心状態でした。

(答え合わせは怖くて出来ない。)と思っていたものの、速報が出るとつい気になってしまい、(じゃあ、最初の10問だけ…)と、採点をはじめ、結局、全ての問題の採点をしてしまいました(笑)。

過去の合格基準点を見ると、多分大丈夫だろう、という点数でしたが、(マークミスしているかも…)という不安や(答えをマークシートに写し間違えているかも…)という不安に襲われ、合格発表までの1ヶ月半、本試験のことを思い出してはソワソワする日々でした。



令和元年 12 月 4 日(水) 合格発表！

合格発表の当日、深夜 0 時に合格基準点の速報をネットで確認。自己採点による点数では合格基準点に達しているものの、やはりマークミスなど気になり(もしかしたら…)と思うと、この時点で全く喜べませんでした。

朝 9 時半からの合格発表で自分の受験番号を確認。「良かった…！」と思わず言葉が出ると共にポロポロ涙が出ました。本当はもっと自分自身が大泣きして、大騒ぎするかと思っていたのですが、嬉しいものの、それより(ホッとした)という方が大きく、次に(やっとゆっくり眠れるー！！)とってしまいました(笑)

大原に私を誘ってくれ、一緒に頑張ってきた友人も合格。2人揃って合格できたこともほんとうに良かったです。

今回、本当に知識ゼロからのスタートでしたが、石田先生の授業は先生の体験談なども話して下さるなど記憶に残りやすく、また丁寧に授業を進めて下さり、とてもわかり易いものでした。

そして、先生がよく『大人になってから、ビジネス以外の機会で繋がる人との出会いは貴重だ』とおっしゃっていた意味も良くわかりました。生活環境も年齢も違うのに、同じ目標に向かって励まし合いながら一緒に勉強してきて、講座の終了後も連絡を取り合えるたくさんの仲間とのご縁は、試験に合格したことと同じくらい、嬉しい出来事でした。



これから宅建士試験を受験される方へ

宅建試験合格への近道は、石田先生が『やってみてください。』といった事は、半信半疑でも、とにかくやってみる事だと思います。素直に先生を信じてみてください！この中には『参加すると 8 割方合格できる飲み会』も含まれます(笑)。

また、心が折れかけた時は、『大原 合格シート』に思いっきり今の気持ちを書き込んでみて下さい。石田先生のコメントで救われることが多く、前向きな気持ちが甦ります。

そして、あとは自分自身を信じて試験に挑んでください！最終的に自分を合格に導くものは、勉強してきた知識はもちろんなのですが、それ以上に『絶対に合格する！合格できる！！』という気持ちだと思います。私は後半戦に入ってからには特にその気持ちだけで頭と体を動かしていた気がします。

勉強中、苦しい時もあるかもしれませんが、その後に得るものは苦しかった事の何倍もあります！

ぜひ、石田先生の講座で、合格とそれ以外のたくさんのものを得て下さい！

みなさんと交流会や合格祝賀会でお会いできる日を楽しみにしております！！



●資格の大原 静岡校 総合インフォメーション前

(写真右)静岡校・沼津校 宅建士講座 石田俊一講師